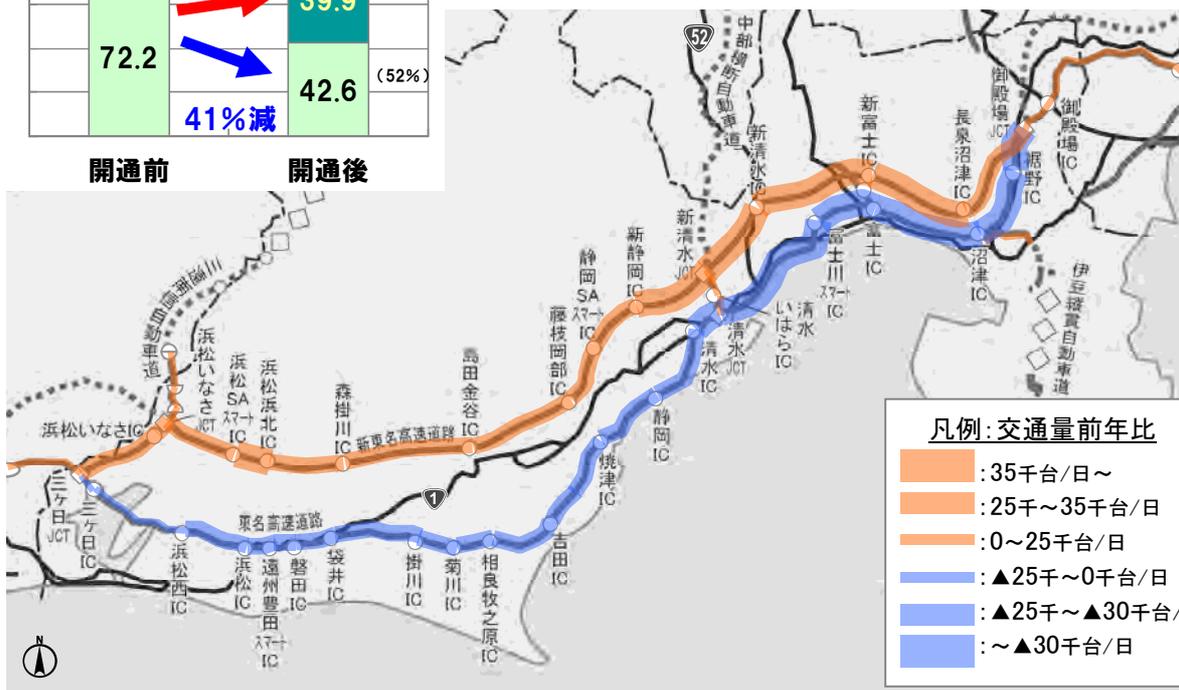
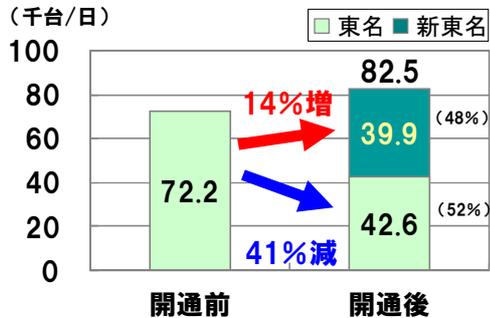


1. 新東名開通後3ヶ月間の平均交通量の変化

- ・ 新東名の開通後3ヶ月間の平均交通量は、全日40千台/日、平日36千台/日、休日48千台/日でした。
- ・ 静岡県内の新東名と東名の交通量の合計は平日が14%、休日が15%それぞれ増加しました。

■平均交通量（全日）

(千台/日)



出典：NEXCO中日本、国土交通省 交通量計測データ
 (御殿場JCT～三ヶ日JCT間の交通量を集計)
 開通前：平成23年4月17日(日)～7月16日(土)
 開通後：平成24年4月15日(日)～7月14日(土)

TOPICS 新東名と東名のTOP3

新東名と東名の交通量に関するTOP3を紹介します。

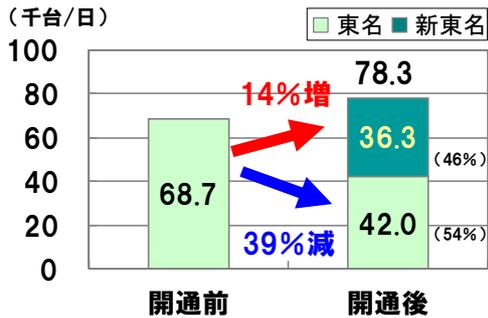
◆新東名区間交通量TOP3

順位	区間名	交通量 (千台/日)
1位	新富士IC～新清水IC	46.4
2位	新清水IC～新清水JCT	44.6
3位	長泉沼津IC～新富士IC	43.5

◆東名区間交通量減少量TOP3

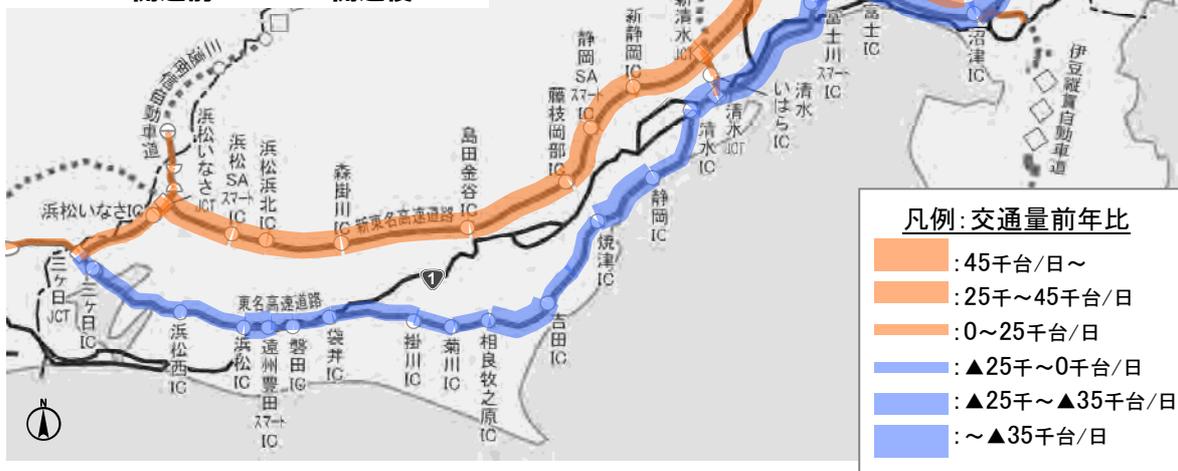
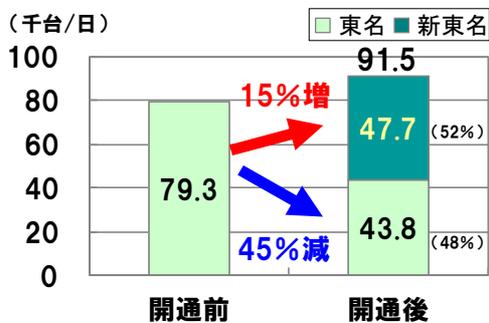
順位	区間名	交通量 (千台/日)
1位	清水JCT～清水IC	▲36.8 (70.7→33.9)
2位	沼津IC～富士IC	▲33.6 (73.2→39.6)
3位	富士川SA～清水JCT	▲33.2 (70.7→37.5)

■平均交通量（平日）



出典：NEXCO中日本、国土交通省 交通量計測データ
 (御殿場JCT～三ヶ日JCT間の交通量を集計)
 開通前：平成23年4月17日(日)～7月16日(土)の平日
 開通後：平成24年4月15日(日)～7月14日(土)の平日

■平均交通量（休日）

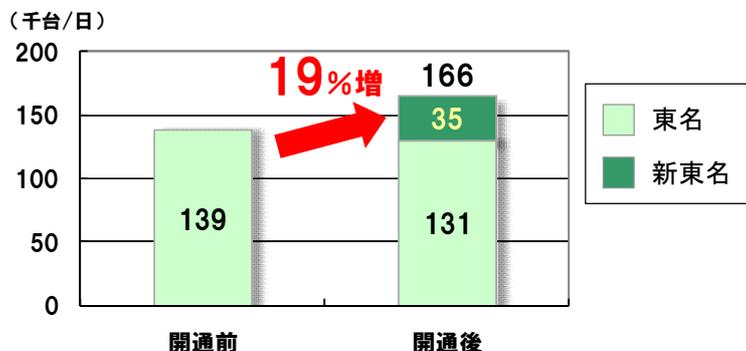


出典：NEXCO中日本、国土交通省 交通量計測データ
 (御殿場JCT～三ヶ日JCT間の交通量を集計)
 開通前：平成23年4月17日(日)～7月16日(土)の休日(土曜・日曜・祝日)
 開通後：平成24年4月15日(日)～7月14日(土)の休日(土曜・日曜・祝日)

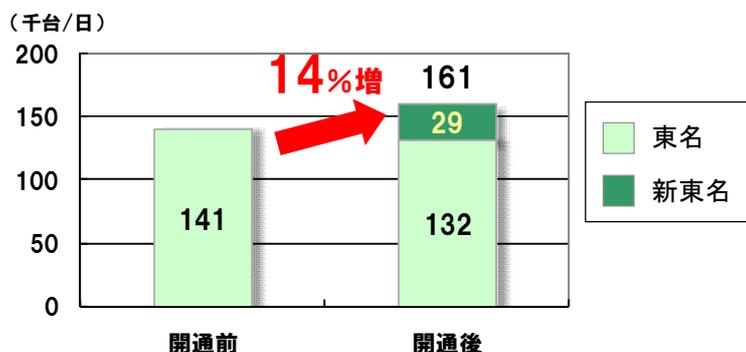
2. 新東名開通後3ヶ月間のIC利用交通量の変化

- 静岡県内の新東名と東名の全IC（インターチェンジ）利用交通量は、平日で14%、休日で30%とそれぞれ増加しており、行動圏の拡大や来県者の増加が想定されます。

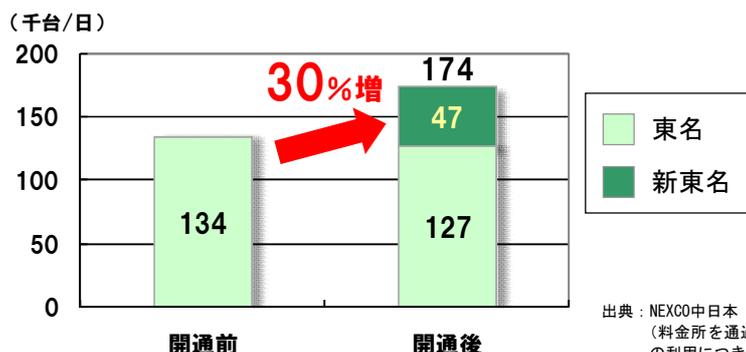
■ IC利用交通量（全日）



■ IC利用交通量（平日）



■ IC利用交通量（休日）



出典：NEXCO中日本 交通量計測データ
 （料金所を通過した台数の日あたり平均値（1回の利用につき1台カウント））
 開通前：平成23年4月17日（日）～7月16日（土）
 開通後：平成24年4月15日（日）～7月14日（土）

TOPICS 新東名と東名のIC利用交通量TOP3

新東名と東名のIC利用交通量に関するTOP3を紹介します。

◆新東名IC利用交通量TOP3

順位	区間名	利用交通量 (千台/日)
1位	新富士IC	7.0
2位	長泉沼津IC	5.9
3位	新静岡IC	4.0

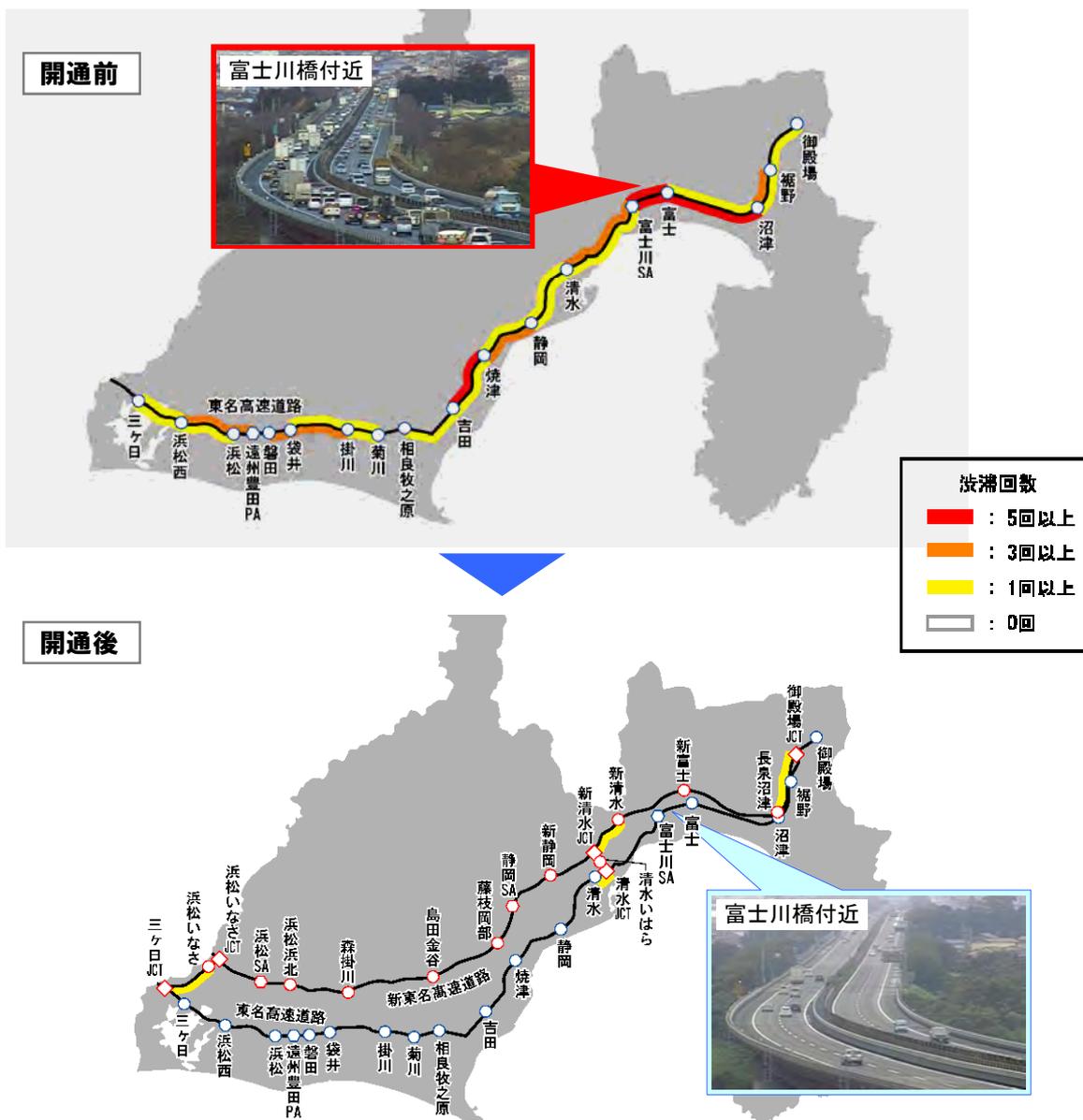
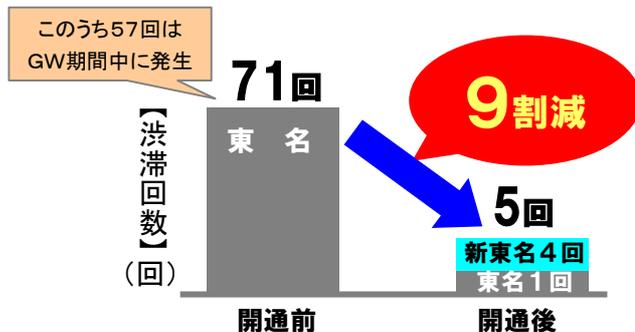
◆東名IC利用交通量減少量TOP3

順位	区間名	利用交通量 (千台/日)
1位	富士IC	▲4.0 (12.6→8.6)
2位	沼津IC	▲3.0 (16.4→13.4)
3位	清水IC	▲1.4 (9.1→7.7)

3. 新東名開通後3ヶ月間の渋滞状況

- ・ 開通後3ヶ月間に静岡県内で発生した10km以上の渋滞は5回で、いずれもゴールデンウィーク期間中に発生しました。
- ・ 昨年同時期に東名の静岡県内で発生していた渋滞回数と比較すると、約9割減少しました。

■ 渋滞状況の変化

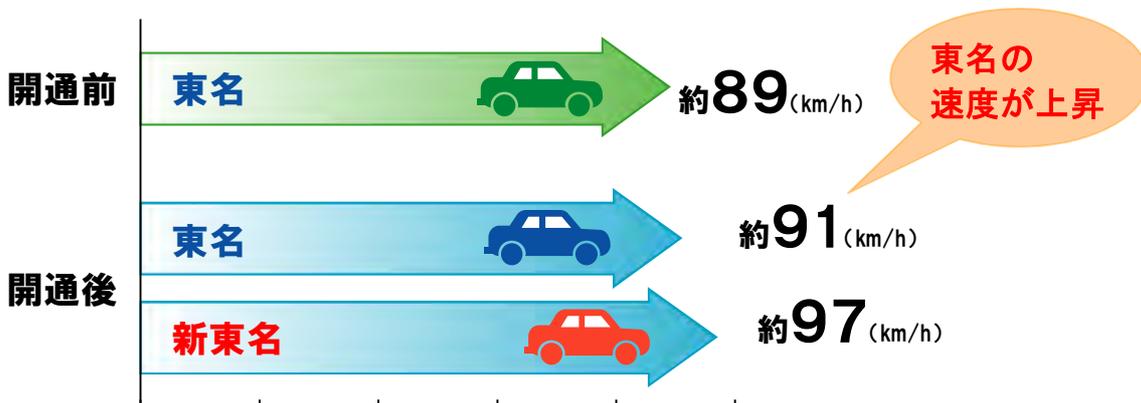


出典：NEXCO中日本データ
 交通集中に伴う10km以上の渋滞回数
 開通前：平成23年4月17日（日）～7月16日（土）
 開通後：平成24年4月15日（日）～7月14日（土）

4. 新東名および東名の旅行速度と交通事故の変化

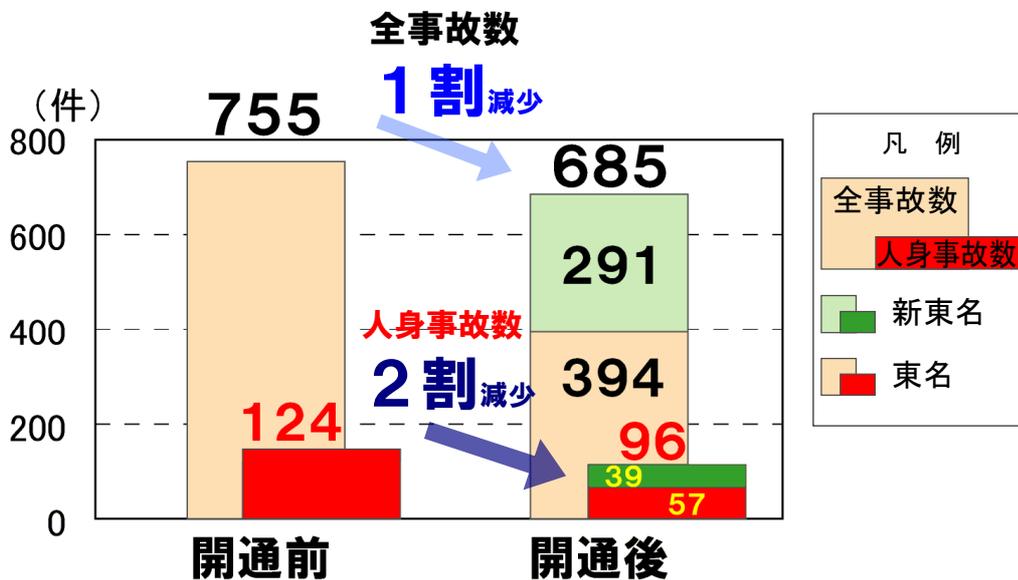
- 東名の平均旅行速度は、新東名開通後、約2 km/h上昇しました。
- 新東名と東名における人身事故件数は、昨年同時期に東名で発生した件数と比較すると約2割減少しました。

■旅行速度の変化



出典：NEXCO中日本 交通量計測データ
 開通前：平成23年4月17日（日）～7月16日（土）
 開通後：平成24年4月15日（日）～7月14日（土）
 旅行速度は、御殿場JCT～三ヶ日JCT間[※]の各区間の旅行速度の平均値。
 ※東名の80km/h規制区間及び連絡路は対象としない。

■交通事故の変化

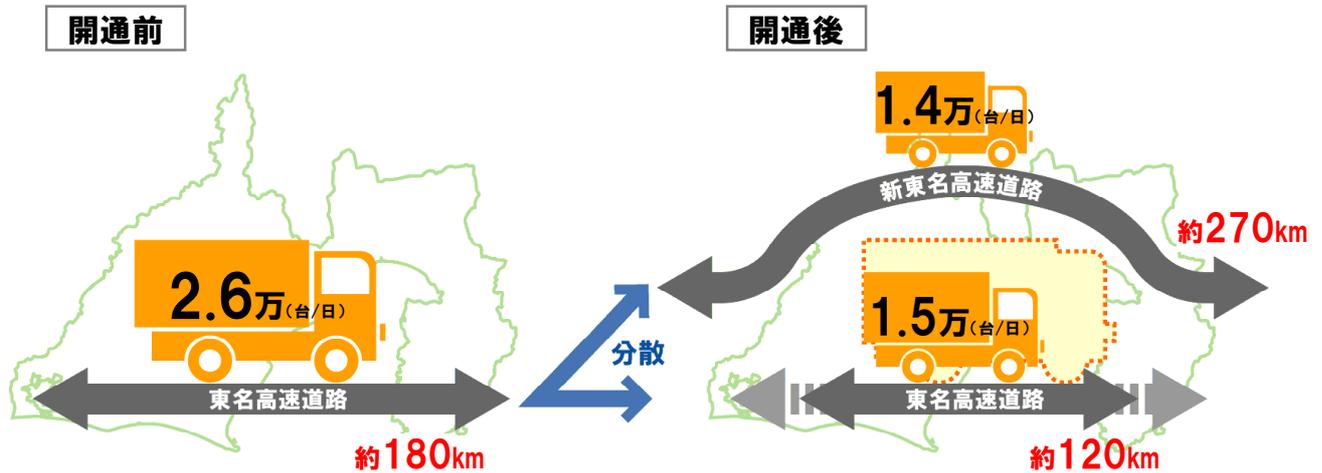


出典：静岡県警記者発表
 開通前：平成23年4月14日（木）～7月13日（水）
 開通後：平成24年4月14日（土）～7月13日（金）

5. 新東名と東名の大型車平均移動距離の変化

- ・ 新東名の大型車の平均移動距離は約270kmである一方、東名は約180kmから120kmに減少し、東名の移動距離の長い通過交通が新東名に転換しました。
- ・ 東名の大型車の平均交通量は、開通前に比べ減少しました。
(2.6万台/日→1.5万台/日)

■大型車平均交通量と平均移動距離の変化



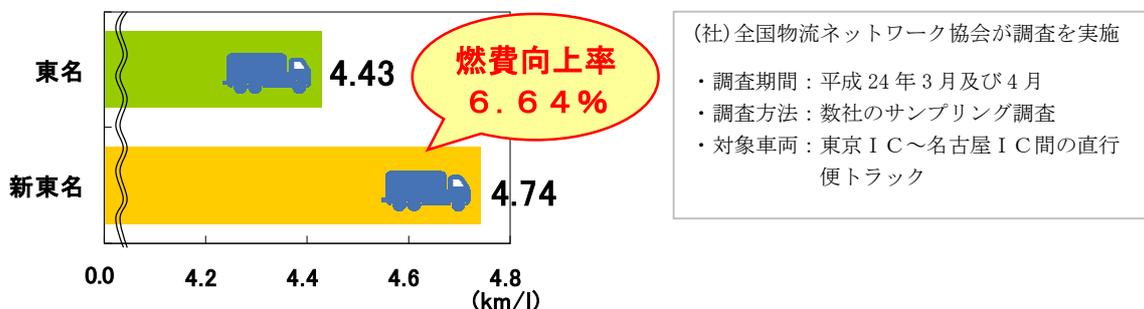
出典：NEXCO中日本データ
 開通前：平成23年4月17日（日）～7月16日（土）
 開通後：平成24年4月15日（日）～7月14日（土）

TOPICS 新東名と東名利用の燃費比較

- ◆ 新東名は、東名に比べ走行性や安全性に重視した道路線形です。



- ◆ 東京～名古屋間の利用の場合、新東名は、東名に比べ約7%燃費が向上する結果となりました。



- ◆ 新東名を年間で利用した場合には、東名利用と比較して約38万円の節約となります。

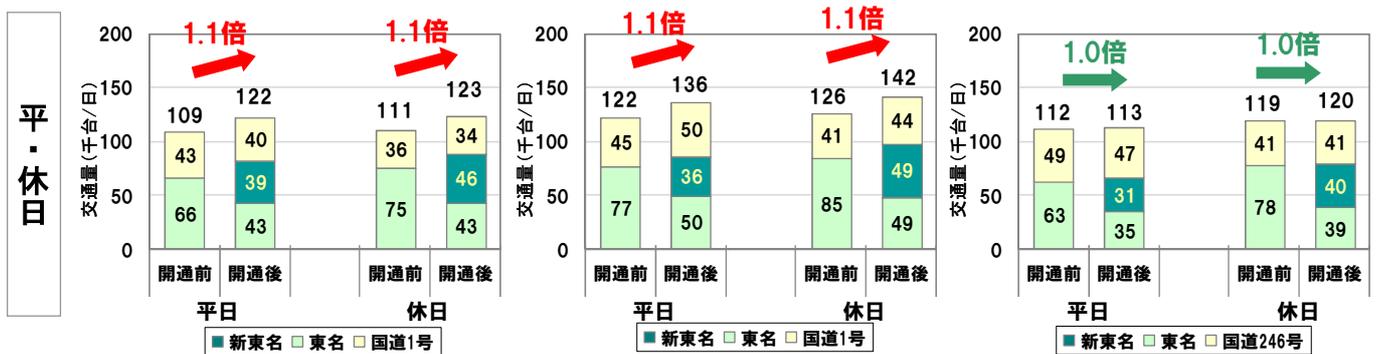
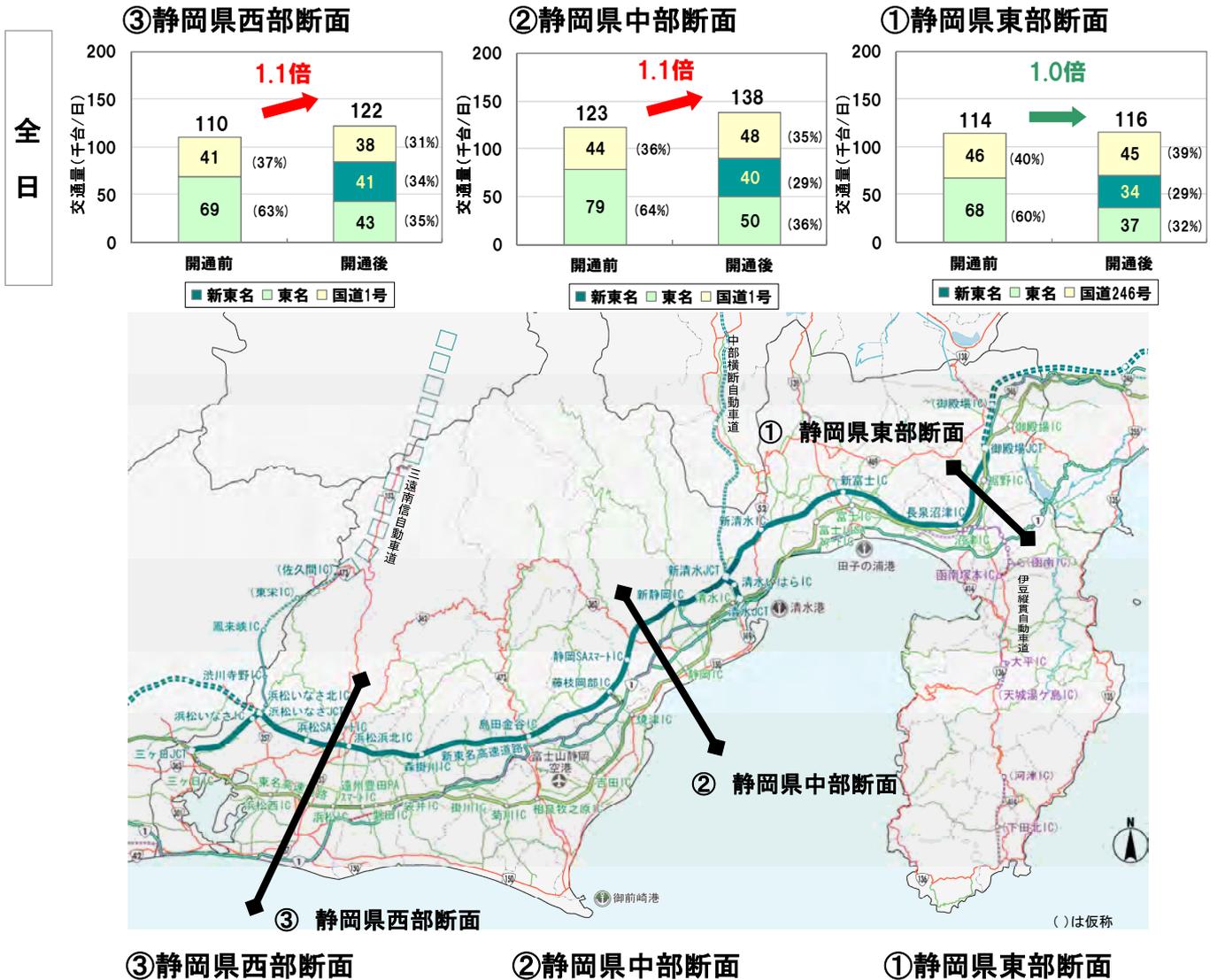
年間利用の場合
約38万円の節約
 1往復で軽油約13.90節約

新東名(静岡県)インパクト調整会議による試算

- ・ 利用条件：1ヶ月20日で12か月稼働
- ・ 延長：東名325.5km、新東名315.4km

6. 静岡県内の主要断面における平均交通量（新東名・東名・国道）の変化

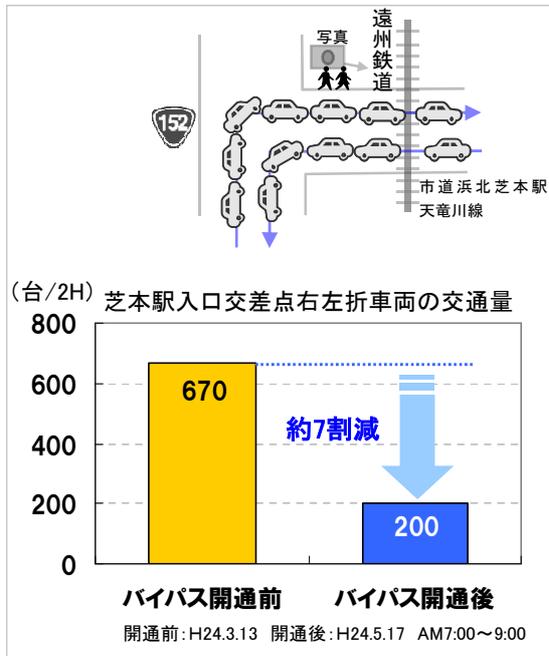
- 静岡県内の主要断面における新東名、東名、国道の断面交通量は、平日・休日とも全体で最大1.1倍の増加となりました。
- 地域別では、静岡県西部断面と静岡県中部断面は増加傾向ですが、静岡県東部断面は横ばいとなっています。
- 並行する国道は、国道1号静岡バイパスが4車化整備された静岡県中部断面において増加傾向がみられますが、全体的に大きな変化はみられませんでした。



出典：NEXCO中日本、国土交通省 交通量計測データ
 平日開通前：平成23年4月17日（日）～7月16日（土）の平日
 平日開通後：平成24年4月15日（日）～7月14日（土）の平日
 休日開通前：平成23年4月17日（日）～7月16日（土）の休日（土曜・日曜・祝日）
 休日開通後：平成24年4月15日（日）～7月14日（土）の休日（土曜・日曜・祝日）

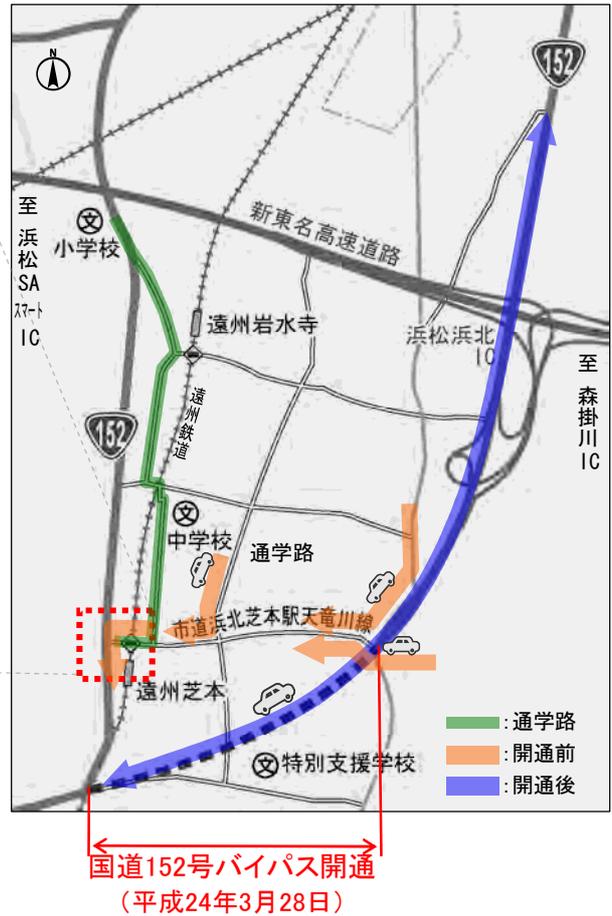
7. 新東名へのアクセス道路開通に伴う生活道路の変化

- ・ 浜松市内では、新東名へのアクセス道路の開通により、生活道路を通過する交通が約7割減少しました。
- ・ 地元の交通状況を良く知る方からは「通学路の安全性が向上した」との声がありました。



バイパス開通後、交通量が少なくなって、子ども達も安全に通学できるようになったと思っています。

市道浜北芝本天竜川線 交通誘導員



生活道路(通学路)
開通前



平成24年3月早朝撮影

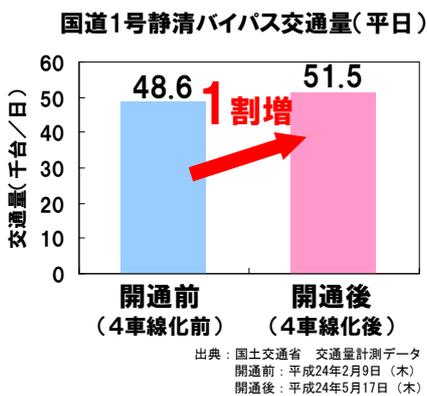
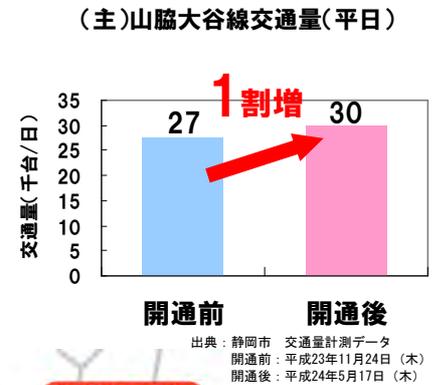
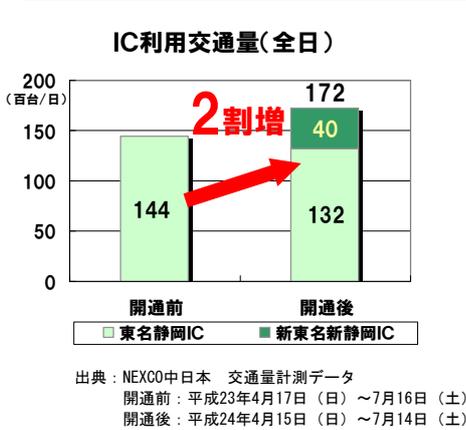
開通後



平成24年7月早朝撮影

8. 高速道路アクセスの向上と市街地への交通分散効果

- ・ 新東名の開通に伴い、アクセス道路となる(主)山脇大谷線および静清バイパスの交通量がそれぞれ約1割増加しました。
- ・ (主)山脇大谷線の整備によるアクセス性の向上、および静清バイパスの4車線化により静岡市街地への交通の分散が図られています。



新東名開通後、
交通量は増加したが、
上下線とも渋滞解消

- ・ これまで東名静岡ICまで30分以上掛かったが、新東名新静岡ICへは10分程度でアクセスでき非常に助かっています。
「静岡県赤十字血液センター」



9. 新東名の商業施設(ネオパーサ)の利用状況

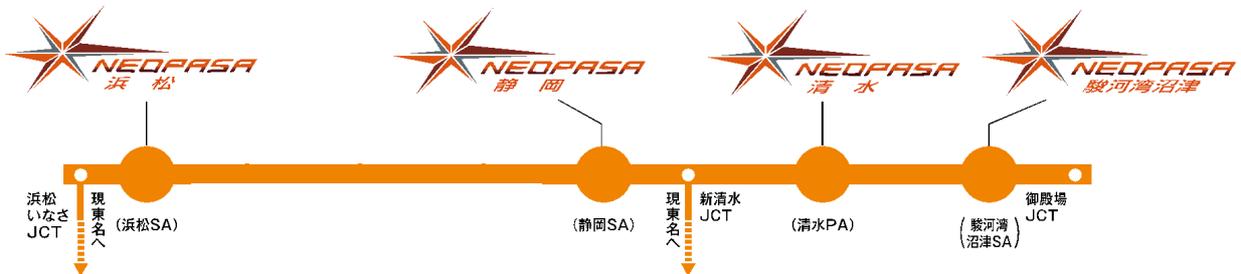
- ・ 新東名の商業施設であるネオパーサ（7箇所）の3ヶ月間の来場者数は、約1,300万人でした。
- ・ ネオパーサ施設管理者からは、高速道路利用者だけでなく「約1割が一般道側からの利用」といった声がありました。

■高速道路商業施設の利用状況



NEOPASA駿河湾沼津は、上下線の商業施設とも大変ロケーションに恵まれていることが人気の最大の理由です。また来場者のうち、約1割の方がふらっとパーク(一般道側)からご利用いただいております。

出典：NEOPASA駿河湾沼津総支配人ヒアリング



ネオパーサ静岡

H24年7月撮影



ネオパーサ駿河湾沼津

H24年5月撮影



ネオパーサ浜松

H24年7月撮影



ネオパーサ清水

H24年7月撮影

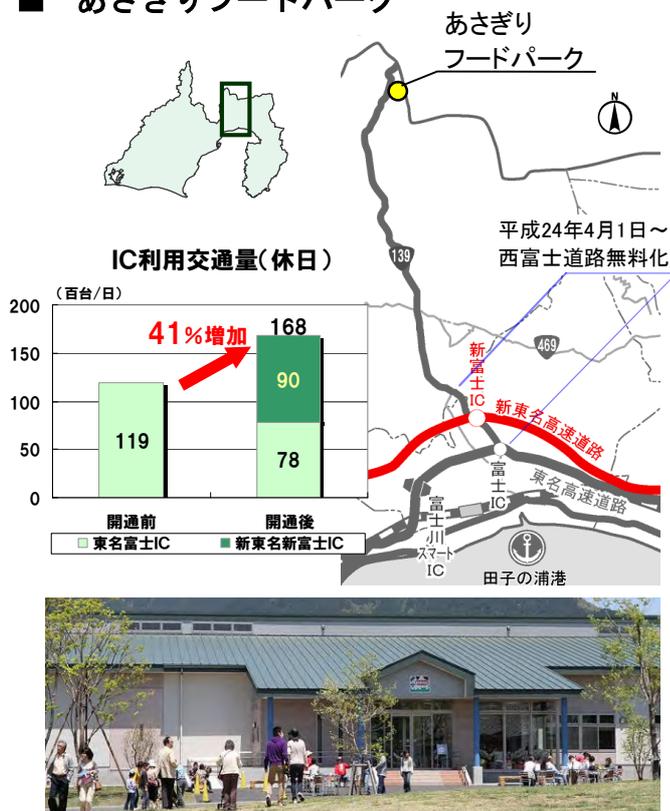
出典：NEXCO中日本

来場者数は平成24年4月14日～7月14日までの、各NEOPASA出入口での観測結果

10. 県内の主要な観光施設の来客状況

- 新東名の開通により高速道路からのアクセス性が向上した観光施設では、観光客が増加するなどの変化がありました。

■ あさぎりフードパーク

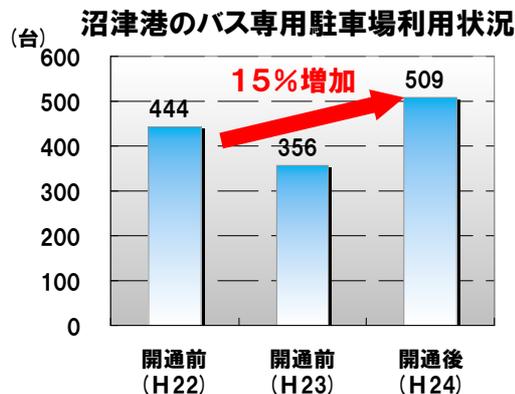


- 平成24年4月1日にオープンし、新東名開通後に団体バスの利用は増加しました。
- 乗用車利用も多く、首都圏が3割、名古屋方面が3割、残りは静岡県内です。



出典：あさぎりフードパークヒアリング

■ 沼津港周辺の観光施設



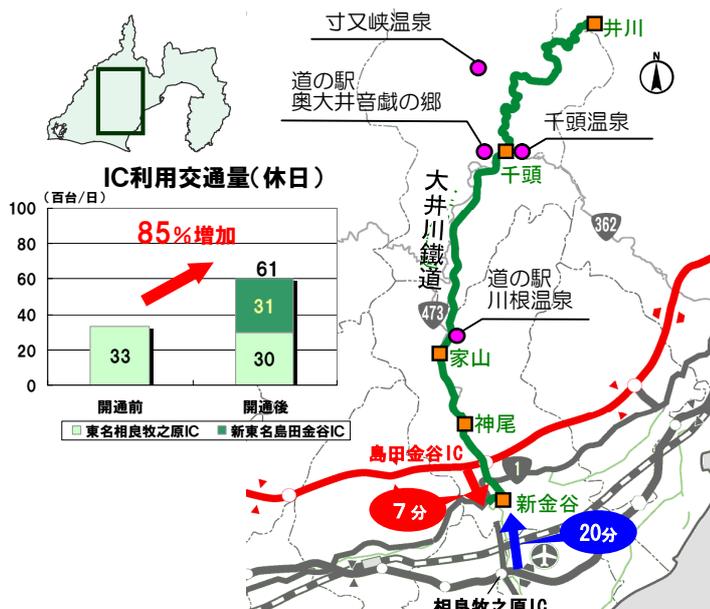
- 開通前は関東方面（東京23区や神奈川）が多かったが、開通後は、名古屋方面からの利用が増加しています。
- また、新東名からのアクセス方法など問い合わせ件数も増えています。



出典：沼津港周辺観光施設ヒアリング

出典：NEXCO中日本 交通量計測データ
開通前：平成23年4月17日(日)～7月16日(土)
開通後：平成24年4月15日(日)～7月14日(土)

■ 大井川鐵道

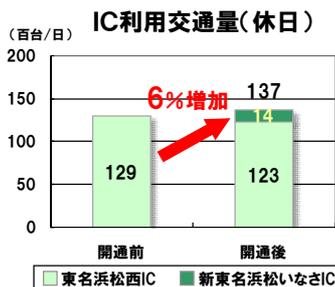


- ・最近の鉄道ブームに新東名開通がはずみをつけ来訪者数が伸びたものと考えています。
- ・秋に予定しているSLフェスタでは例年より多くの来場を期待しています。



出典：大井川鐵道ヒアリング

■ りゅうがしどう 竜ヶ岩洞



出典：NEXCO中日本 交通量計測データ
 開通前：平成23年4月17日(日)～7月16日(土)
 開通後：平成24年4月15日(日)～7月14日(土)



- ・行きは東名、帰りは新東名とICを選択できるようになり、観光周遊性が大幅に改善し、滞在時間も1～2時間拡大しています。
- ・新たに他の施設との共通チケットを販売開始し、周遊の促進に期待しています。

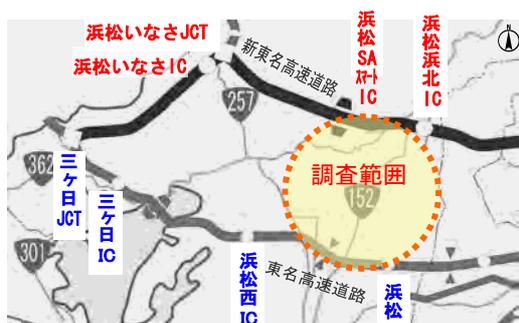


出典：竜ヶ岩洞管理事務所ヒアリング

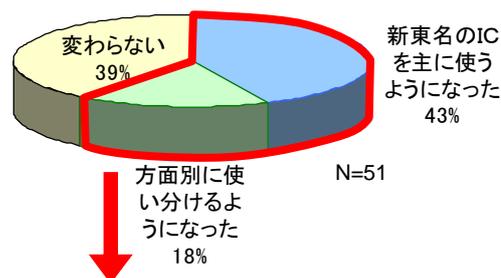
1.1. 企業活動における効果

- ・ 浜松市北区・浜北区の企業へのアンケート調査では、新東名の開通により「出発時間を遅くできるようになった」や「目的地付近での待ち時間が減った」とする意見がありました。
- ・ また、6割の企業から「新東名の開通により企業活動に効果があった」と回答がありました。

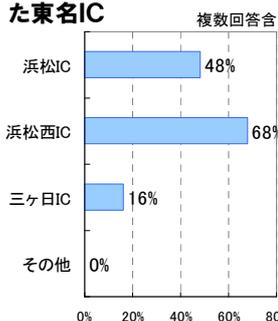
■ 浜松市北区・浜北区の企業（53社）への電話アンケート調査結果（平成24年7月上旬に実施）



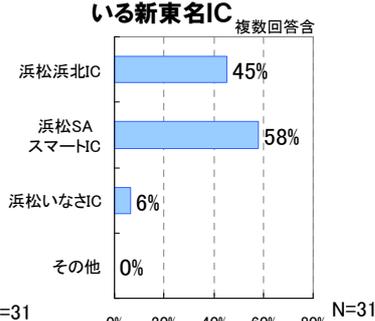
Q1: 新東名開通後、これまで主に利用していた高速のICが変わりましたか？



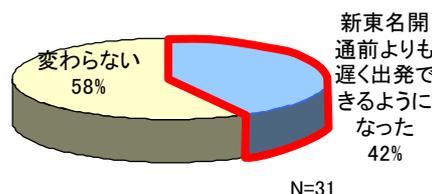
Q2: 開通前に主に利用していた東名IC



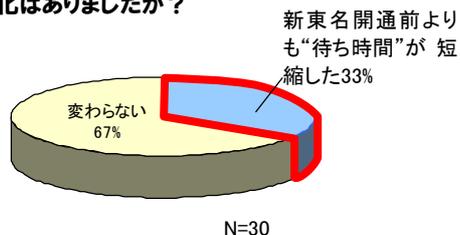
Q3: 開通後に主に利用している新東名IC



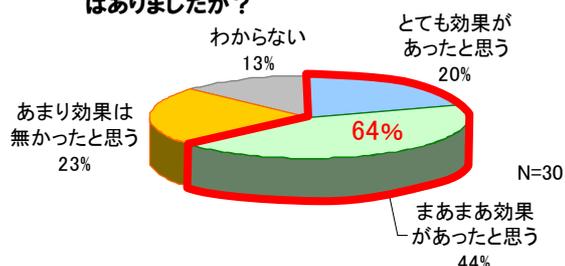
Q4: 高速道路を利用する際の出発時間に変化はありましたか？



Q5: 目的地(輸送先・営業先)付近での“待ち時間”に変化はありましたか？



Q6: 総じて、新東名の開通が御社への企業活動に効果はありましたか？



企業活動における主な効果(自由意見抜粋)

【利便性の向上(ICアクセス性の向上・時間短縮等)】

- ・ 疲れにくい。時間短縮できるようになった
- ・ 新東名浜松SAからスマートインターで乗り降りができるので、時間短縮につながっている
- ・ 到着時間が少し早くなり、心理的に余裕ができた
- ・ 選択が広がった

【新東名の走行性に対する声】

- ・ 道幅が広く、運転しやすい
- ・ 疲れにくい

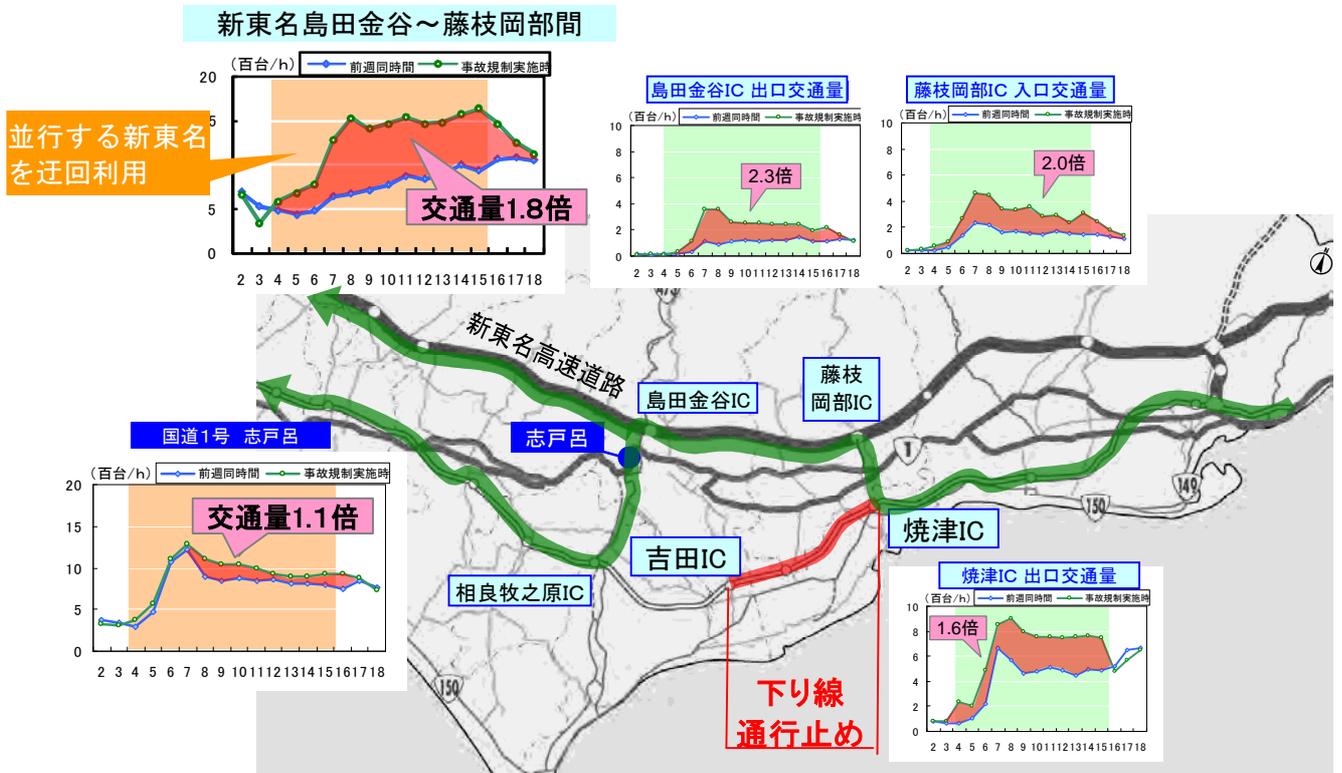
【東名に対する声】

- ・ 東名の交通量が減って走りやすくなった

12. 東名通行止め時にダブルネットワーク効果が発現

- 5月18日に発生した東名の大型車の事故による通行止め（4時～16時）では、新東名の交通量が前週の1.8倍となり、迂回によるダブルネットワーク効果が発現しました。

平成24年5月18日 東名焼津IC～吉田IC（下り）が事故により通行止めが発生



通行止め時の主な情報提供状況

VICS



所要時間情報板



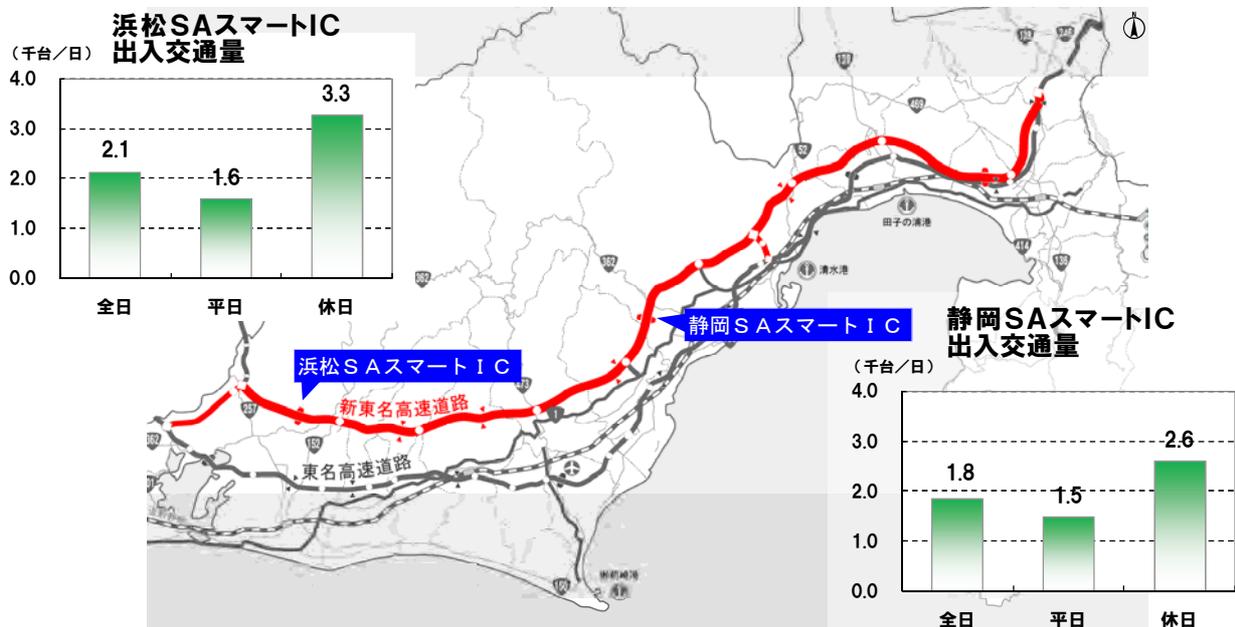
「新東名と東名をラダー状（はしご状）に結ぶ道路」



13. スマートICの利用状況と期待の声

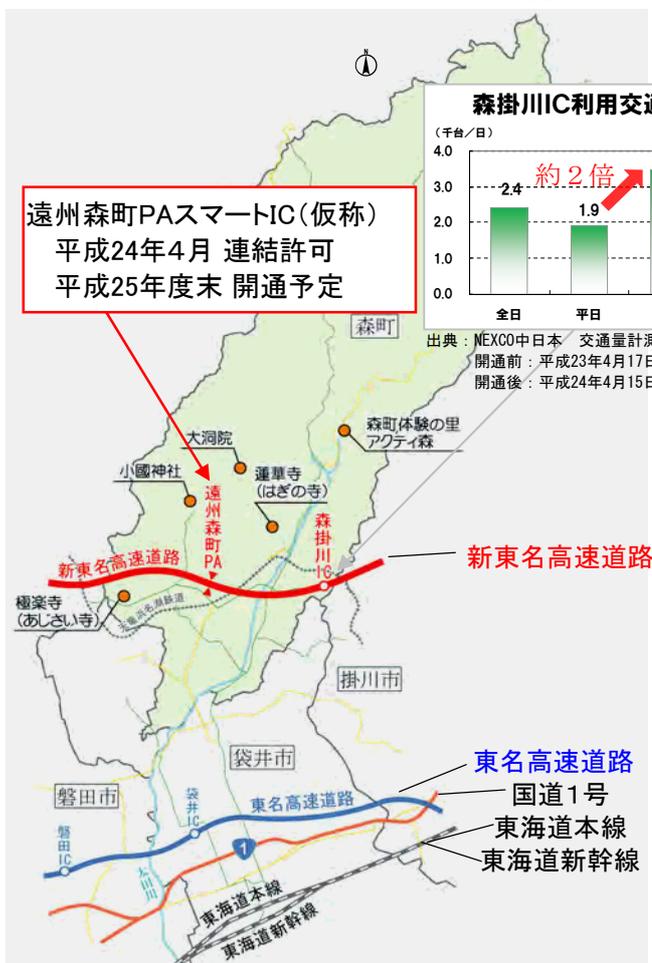
- ・ 新東名のスマートIC（2箇所）の開通後3ヶ月間の出入交通量は、静岡SAスマートICでは、平日1.5千台/日、休日2.6千台/日でした。
また、浜松SAスマートICでは、平日1.6千台/日、休日3.3千台/日でした。

■スマートICの交通量

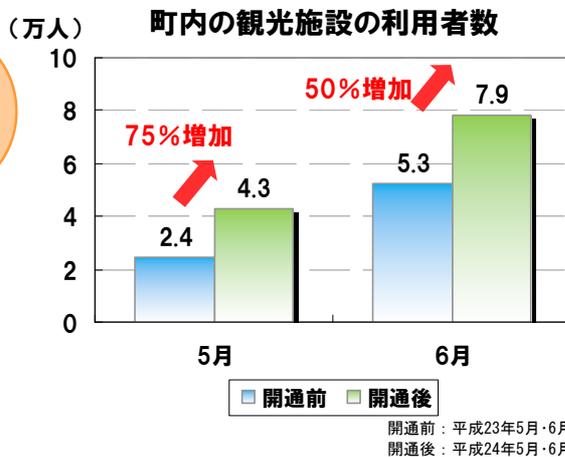


出典：NEXCO中日本 交通量計測データ
 開通前：平成23年4月17日（日）～7月16日（土）
 開通後：平成24年4月15日（日）～7月14日（土）

■スマートIC開通に向けて期待が膨らむ森町



東京・名古屋からの来訪者あり



- ・ これまで高速道路・国道・JRも通っていなかった町。新たにできた新東名に寄せる町内の期待は大きい。
- ・ 観光客からは「早くスマートICが開通してほしい」という声を聞いています。



出典：森町 ヒアリング

14. 三遠南信自動車道の状況

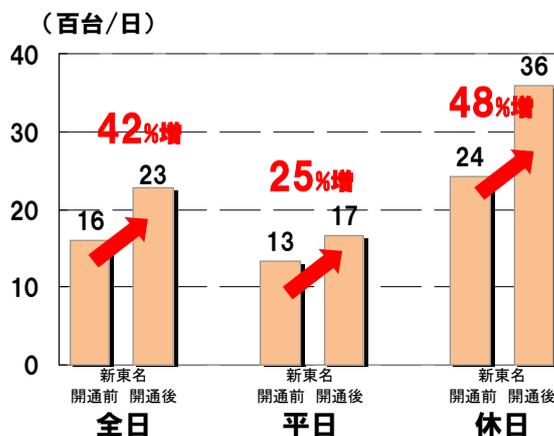
(1) 交通量の変化

- 新東名に接続する三遠南信自動車道において、新東名開通後3ヶ月間の交通量は、平日17百台/日、休日36百台/日でした。

■位置図



■三遠南信自動車道の交通量

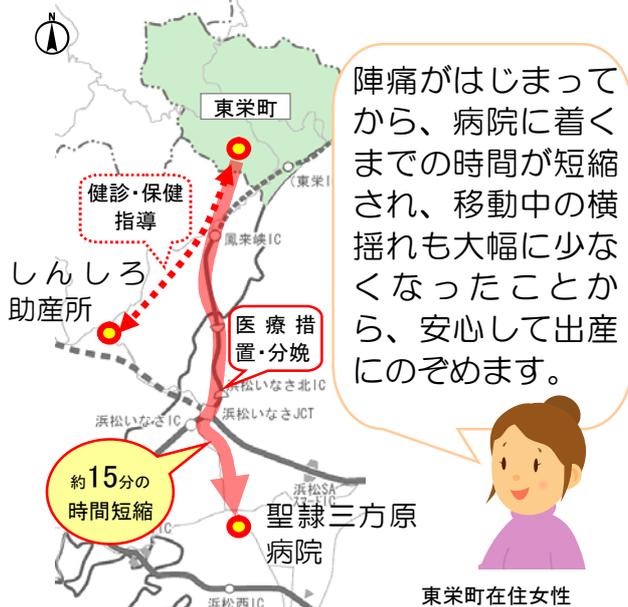


出典：国土交通省データ
 開通前：平成24年3月5日（月）～4月13日（金）
 開通後：平成24年4月15日（日）～7月13日（土）

(2) 奥三河地域の医療支援

- 奥三河地域には、分娩できる医療機関がなく、聖隷三方原病院と連携し県境を越えた周産期医療体制が形成され、三遠南信自動車道がそのサービス向上に貢献しています。
- 都市部の病院への搬送実績も増加し、地域の医療サービス向上を支援しています。

■県境を越えた体制支援



■都市部の病院への搬送実績



■東栄病院から三遠南信・新東名を利用した転院搬送実績

搬送先	搬送件数	所要時間		
		一般道利用	高速利用	短縮効果
豊川市民病院	7件	約57分	約48分	約9分
豊橋市民病院	6件	約62分	約55分	約7分
豊橋ハートセンター	5件	約68分	約61分	約7分
浜松医大病院	1件	約70分	約53分	約17分

出典：新城市消防本部ヒアリング
 期間：H24.3.4～H24.7.1

(3) 奥三河地域の観光支援

- ・ 奥三河周遊観光バスツアーでは、開通区間の利用により、約20分の移動時間が短縮し、さらに旅程を調整し、約40分の観光時間が確保できました。
- ・ 愛知県北設楽郡豊根村「茶臼山高原」で開催された「芝桜まつり」では、静岡県からの観光バスが増加しました。

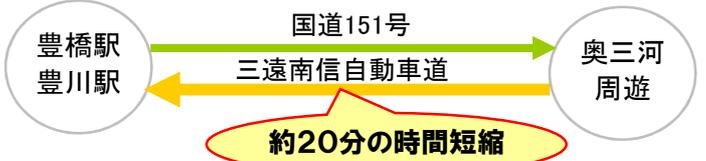
■奥三河周遊観光バスツアー



【開通前】



【開通後】



・奥三河バスツアーでは今回開通区間の利用により、20分移動時間が短縮し、さらに旅程を調整し、40分の観光時間が確保できました。



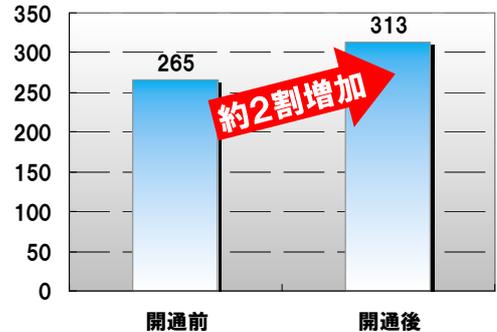
出典: 豊橋鉄道 ヒアリング

■茶臼山高原「芝桜まつり」



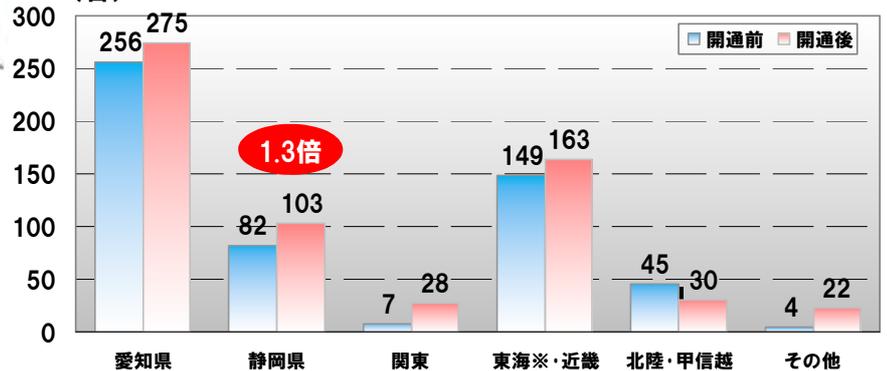
・国道257号151号経由だったが、新東名・三遠南信経由に変更し、所要時間が短縮された。

芝桜まつり期間中の来場者数の推移 (千人)



出典: 開通前: 平成23年5月7日(土)~6月5日(日)
開通後: 平成24年5月12日(土)~6月10日(日)

芝桜まつり観光バスの出発地 (方面別)



出典: 観光バスヒアリング